

九州電力における ネイチャーポジティブの取組みについて

九州電力株式会社
北九州支店
副支店長 高村 賢治



目 次

1

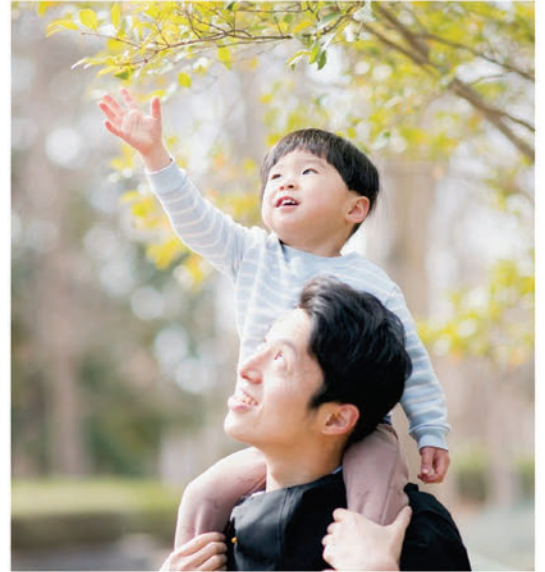
主な内容

- 1 企業理念
- 2 九電グループ環境憲章
- 3 九電グループのマテリアリティ（主要課題）
- 4 九州内（全社）での主な取り組み
 - （1）社有林の維持管理を通じた持続可能な社会の形成
 - （2）「自然共生サイト」の認証を通じた30by30目標への貢献
 - （3）九電みらい財団による環境活動
- 5 北九州エリアでの取り組み
 - （1）響灘ビオトープでの除草ボランティア
 - （2）各地域での清掃ボランティア
 - （3）次世代層へのエネルギー教育
 - （4）「到津の森公園」の動物に樹木プレゼント

ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。

「ずっと先まで、明るくしたい。」というメッセージは、私たちがこれからの時代の変化の中でも変わることなく電力やエネルギーを安定してお届けする、そしてお客さまの快適で環境にやさしい毎日に貢献していく、という気持ちを表しています。「快適で、そして環境にやさしい」という言葉には、快適な毎日を楽しみながら、その毎日がよりよい地球環境につながっている、地球環境によいことが、人間の豊かさや快適さにつながっている、そういう持続可能な社会に貢献していきたい、という思いを込めています。快適で環境にやさしい毎日の実現に貢献し、子どもたちの未来につなげていくこと、これが「九電グループの思い」です。



地球にやさしいエネルギーを
いつまでも、しっかりと

私たちは、お客さまに毎日の生活を安心して送っていただくよう、エネルギーや環境に関する豊富な技術や経験をもとに、世の中の動きを先取りしながら、地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりとお届けしていきます。



「なるほど」と
実感していただくために

私たちは、お客さまの信頼を第一に、さまざまな声や思いをきっちり受け止め、お客さまに楽しさや感動をもって「なるほど」と実感していただけるようなサービスでお応えしていきます。



九州とともに。
そしてアジア、世界へ

私たちは、九州の皆さまとともに、子どもたちの未来や豊かな地域社会を考え、行動していきます。そして、その先に、アジアや世界をみます。



語り合う中から、
答えを見出し、行動を

私たちは、人間の持つ可能性を信じ、個性を尊重し合い、自由・活発に語り合う中から、明日につながる答えを見出し、行動していきます。

2 九電グループ環境憲章

制定：2008年4月

3

～環境にやさしい企業活動を目指して～

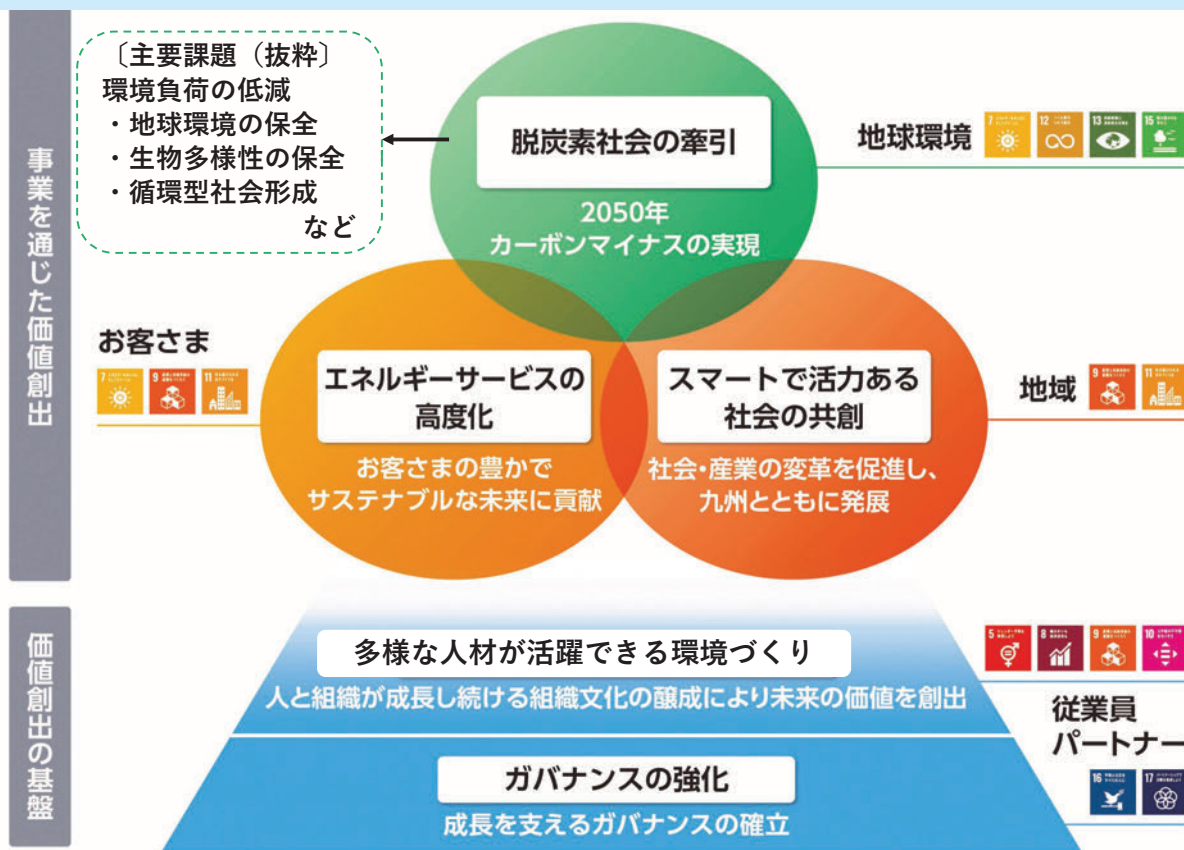
九電グループは、持続可能な社会の実現を目指して、グローバルな視点で地球環境の保全と地域環境との共生に向けた取組みを展開します。

1. 地球環境問題への適切な対応と資源の有効活用に努め、未来につなげる事業活動を展開します。
2. 社会と協調し、豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組めます。
3. 環境保全意識の高揚を図り、お客さまから信頼される企業グループを目指します。
4. 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを推進します。

3 九電グループのマテリアリティ（重要課題）

4

九州電力は、事業活動を通じて「社会価値」と「経済価値」を同時に創出するサステナビリティ経営を推進。その実現に向けた経営上の重要課題をマテリアリティとして特定（2022年4月）。



4 九州内（全社）での主な取り組み

5

(1) 社有林の維持管理を通じた持続可能な社会の形成

- 九州電力は、4,447ヘクタール（PayPayドーム約630個相当）の社有林を保有しており、九電グループ会社である九州林産による適正な森林管理を実施
- 社有林では、森林の環境、社会、経済的側面における適切な管理を、世界基準で認証するFSC®（Forest Stewardship Council®：森林管理協議会）の森林認証を2005年に取得、現在も更新中
- また、九州林産は保全・管理だけでなく、毎年1～2万m³※の木材販売の実績を持つ

県 別	面 積	割 合	所属流域	主な所在地
大分県	4,090 ha	92%	大分川、筑後川流域	由布市、九重町、別府市
宮崎県	282 ha	6%	五ヶ瀬川流域	延岡市、椎葉村
熊本県	75 ha	2%	球磨川流域	水上村
合計	4,447 ha	100%		



(2) 「自然共生サイト」の認証を通じた30by30目標への貢献

- 生物多様性に関する世界目標である「30by30アライアンス」に参加しています。
- 2023年には、当社社有林の一部において「令和5年度前期自然共生サイト」として認定を受けました。



4 九州内（全社）での主な取り組み

(3) 九電みらい財団の取り組み

事業概略

- 名 称 公益財団法人九電みらい財団
- 設 立 1954年8月27日（旧 公益財団法人九配記念育英会）
2016年5月12日（旧 一般財団法人九電みらい財団） } 2021年4月1日 合併
- 活動内容 豊かな自然環境と子どもたちの健やかな未来を育むことを目的に、社有林を活用した環境活動や助成活動を実施しています。

活 動 名	内 容
① 環境保全	くじゅう坊ガツル湿原一帯での環境保全活動として、野焼き活動及び希少植物保護活動、また、隣接する平治岳でのミヤマキリシマ植生保護活動
② 環境教育	子どもたちの環境保全意識を啓発し、将来の九州の環境保全につなげることを目的とした「森での体験型環境教育」とVRなどを活用した「デジタル環境教育」
③ 植林活動	環境教育や市民交流の拠点となる森づくりを目指し、地域との協働による植林などを通じてカーボンニュートラルに取り組む「九電みらいの森プロジェクト」
③ 次世代育成支援活動	九州各地の諸団体が取り組む「子どもたちの自然を大切にする心を育む活動」への助成事業（対象：九州地域で活動する非営利団体）

(3) 「九電みらい財団」による環境活動

① 環境保全活動

ラムサール条約に登録される大分県の坊ガツル湿原での野焼きや希少植物の保護活動を行っています。



野焼き活動



輪地切り



輪地焼き



本焼き

希少植物の保護活動



希少植物保護



ミヤマキリシマ植生保護



登山道整備

(3) 九電みらい財団の取り組み

② 環境教育

くじゅう九電の森（大分県由布市）等での「森での体験型環境教育」やV Rを活用した「デジタル環境教育」を通して、子どもたちの環境保全意識の啓発に取り組んでいます。

【森での体験型環境教育】

【デジタル環境教育】



くじゅう九電の森（大分県由布市）



森の講話



講 話



森の実験



間伐体験



V R 間伐体験

(3) 九電みらい財団の取り組み

③ 植林活動（九電みらいの森プロジェクト）

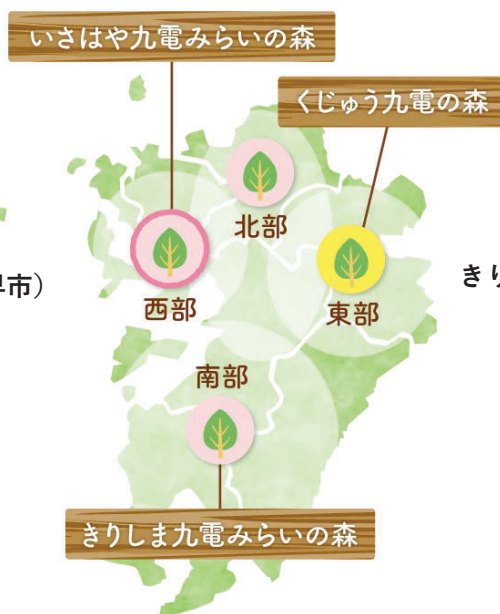
2022年度から「いさはや九電みらいの森」、2023年度から「きりしま九電みらいの森」において、地域の皆さまとの協働による環境教育や市民交流の場となる森づくり取り組んでいます。



いさはや九電みらいの森（長崎県諫早市）



植林／育林ボランティア活動



きりしま九電みらいの森（鹿児島県霧島市）



法面保護(土留め)ボランティア活動

(3) 九電みらい財団の取り組み

③ 次世代育成支援活動

九州の未来を担う子どもたちのために、九州各地の諸団体が行き組む環境活動への助成事業を行っています。

【助成支援実績】

- 2024年度
九州エリア 18団体
うち、北九州エリア
・ NPO法人 SDGs Spiral
・ NPO法人 森遊会
・ 特定非営利活動法人
北九州国際自然大学校
- 2025年度
九州エリア 20団体
うち、北九州エリア
・ 一般社団法人 mixjam
・ 海あそび舎



助成先団体の活動の様子

2026年度 助成対象団体を募集中(11/1～12/21)



(1) 響灘ビオトープでの除草ボランティア



● 響灘ビオトープとの協働による自然環境の保全

(2) 各地域での清掃ボランティア



● ラブアース・クリーンアップ
への参加

● 森鷗外旧居周辺清掃

● 藍島海岸清掃

地域の皆さまと一緒にボランティア活動を行っています。

(3) 次世代層へのエネルギー教育 小倉高校 探求授業（2025年7月）



九州地域の将来を担う人材の育成、エネルギー・電力事業への理解促進のため、学校の授業に協力しています。

(4) 「到津の森公園」の動物に樹木プレゼント（2025年1月）



SDGs および地域貢献の一環として、発電所構内にある樹木の一部を到津の森公園の動物たちにプレゼント

北九州エリアでも独自に次世代育成教育を行っています。

ご清聴ありがとうございました